

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

きもの基礎知識

普段きものを着ない方でも一度は耳にしたことがある言葉ではないでしょうか。きものでは衿合わせをする際、「右前」にするのか「左前」にするのかで大きく意味が違ってきます。

これからの和とくポイント

きものの「右前」と「左前」

右前と左前の違い

前合わせを、左右どちらを上にするかで「右前」「左前」と表現します。“前(相手)から見て”右の衿が上に重なっているように見える着方が「右前」です。きものは「右前」が正解です。どっちだっけ?とあわてないために…

1. 「前」=「先」と覚える

「前」という言葉には「先」という意味もあり、「右前」は「右手に持った身頃を先に合わせる」と覚えましょう。「右手に持った身頃」→「左手に持った身頃」の順番です。

2. 右手で懐紙などをしまいやすく

きものではハンカチやティッシュを懐にしまったり、茶道で使う懐紙も懐に入れたりします。そのときに右手が懐に入る着方が「右前」です。右利きの人が多いので、懐に右手を入れやすくするために、きものは右前になった、という説もあります。

ではなぜ、きもので「左前」はいけないの?

現代では「死装束」を着せるときにのみ用いられます。死装束とは文字通り、故人に着せる衣装のことで、白いきものが一般的です。日本では昔から亡くなった方を死装束である世に送る習慣があるので、普段きものを着るときに左前はタブーとされています。「この世とあの世は真逆なので、死装束も逆に着せる」というもの。故人と生きている者を区別する意味もあります。また、奈良時代の上流階級が衣服を左前で着ていたのに倣い、「来世では衣服を左前で着られるくらい裕福な暮らしができますように」という願いを込めたという説もあります。このような理由から、左前で着ると縁起が悪いとされ、物事がうまくいかなかったり、暮らし向きが苦しくなることを「左前になる」などと表現するようにもなりました。うっかり間違えないようにしましょう。



今日もきもの気分

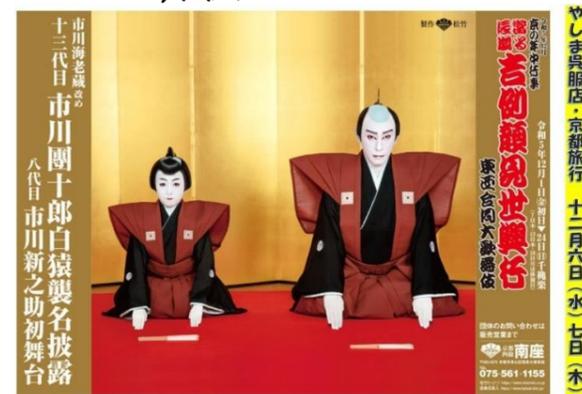
やしま呉服店からのお知らせ

🌸 9月の催事・イベント 🌸

◎カクシン展：15日(金)～17日(日)
メーカー「カクシン」の選び抜いたお薦めの品々が3日間にわたり展示しております。ぜひご覧ください、お待ちしております。

また、特別企画として、12月6日より一泊京都旅行「南座 顔見世」観覧を企画しております。

※詳細はやしま呉服店まで



🌸 さくらきもの学院 🌸

◎レッスンのお申込受付ます♪

- ・進級教室：初等科、専科…
- ・着方教室：12,000/10回～
- ・1dayレッスン：500円/回



◎「自分のためのフォトプラン」受付

お気に入りの着物で記念に写真を残しませんか?ヘアメイク着付.撮影を今回限りの価格で企画しました。

※ご希望はさくらきもの学院事務局まで

ありがとう